



五月(大) 皋月 柳宿

五月五日立夏の節より
月命癸巳八白土星の月
暗剣殺東北方

旧三月大
旧四月小

日	曜日	干支	九星	行事	旧暦	六輝	中段	廿宿	下段	日出	月入	満潮	干潮
1日	日	壬のひび	五黄	高岡御車山祭、 不成就日、但三月大	廿五	先負	たいら	昂	天おん	4.49	18.28	1.00	12.08
2日	月	きのえさる	六白	下関海峽祭(4日迄)、奈良東大寺聖武祭、 飛脚水無神社例祭、十方くれ入り	廿六	佛滅	さだん	畢	大みやう	4.48	18.28	1.41	13.12
3日	火	きのとり	七赤	憲法記念日、熱海身代り不動尊五臟病封、 博多どんたく(4日迄)、京都伏見稲荷還幸祭	廿七	大安	とる	背	神よし	4.47	18.29	2.21	14.18
4日	水	ひのえいぬ	八白	みどりの日、豊川稲荷春季大祭、 七尾青柏祭	廿八	赤口	やぶる	参	五むじ	4.46	18.30	3.00	15.27
5日	木	ひのと	九紫	こどもの日、立夏(○時四三分、端午、三隣亡、 児童福祉週間、神奈川国府祭、府中くらやみ祭	廿九	先勝	やぶる	井	大みやう	4.45	18.31	3.41	16.37
6日	金	つちのえね	一白	東京下谷神社祭	卅	友引	あやぶ	鬼		4.44	18.32	4.23	17.48
7日	土	つちのとうし	二黒	朔四時三〇分	朔	佛滅	なる	柳	きこ	4.43	18.33	5.09	18.58
8日	日	かのをとら	三碧	母の日、世界赤十字デー	二	大安	おさん	星	母倉	4.42	18.33	5.58	20.06
9日	月	かのと	四緑	一粒万倍日	三	赤口	ひらく	張	神よし	4.41	18.34	6.52	21.10
10日	火	みづのえたつ	五黄	愛鳥週間、笠間稲荷御田植祭、 一粒万倍日、不成就日	四	先勝	とづ	翼	大みやう	4.40	18.35	7.49	22.07
11日	水	みづのとみ	六白	長良川鶴飼開き、天一上	五	友引	たつ	軫	●	4.39	18.36	8.48	22.58
12日	木	きのえうま	七赤	看護の日、天しや	六	先負	のぞく	角	よるづ	4.38	18.37	9.47	23.43
13日	金	きのとひつじ	八白	上弦二時〇二分、大津三井寺千円子祭、 出雲大社例祭、奈良当麻寺練供養、旧灌仏会	七	佛滅	みつ	亢	大みやう	4.38	18.38	10.46	—
14日	土	ひのえさる	九紫		八	大安	たいら	氏	神よし	4.37	18.38	11.43	0.23
15日	日	ひのと	一白	大垣祭、京都松尾大社還幸祭、 沖繩本土復帰記念日、京都葵祭	九	赤口	さだん	房	十し	4.36	18.39	12.39	0.59
16日	月	つちのえいぬ	二黒		十	先勝	とる	心		4.35	18.40	1.10	1.05
17日	火	つちのと	三碧	日光東照宮春季例大祭、三隣亡	十一	友引	やぶる	尾	くま日	4.35	18.41	2.03	1.32
18日	水	かのを	四緑	国際親善デー、不成就日	十二	先負	あやぶ	箕	月とく	4.34	18.42	2.94	2.00
19日	木	かのと	五黄	奈良唐招提寺回廊まき	十三	佛滅	なる	斗	五むじ	4.34	18.42	3.06	2.34
20日	金	みづのえとら	六白	小満二時三三分、酒田まつり、 奈良興福寺新能、福井三國祭	十四	大安	おさん	牛	大みやう	4.33	18.43	3.38	3.09
21日	土	みづのとう	七赤	伊豆下田黒船祭(20日、22日)、 真宗本派親鸞聖人誕生会、一粒万倍日	十五	赤口	ひらく	女	母倉	4.32	18.44	4.13	3.38
22日	日	きのえたつ	八白	望六時一四分、浅草三社祭、一粒万倍日	十六	先勝	とづ	虚	大みやう	4.32	18.45	5.01	4.33
23日	月	きのと	九紫		十七	友引	たつ	危	●	4.31	18.45	6.18	5.33
24日	火	ひのえうま	一白	神戸湊川神社補公祭(26日迄)	十八	先負	のぞく	室	大みやう	4.30	18.46	7.08	6.18
25日	水	ひのとひつじ	二黒	東京上野五條天神祭、東京湯島天神祭、 鶴岡化けもの祭	十九	佛滅	みつ	壁	くま日	4.29	18.47	8.02	7.08
26日	木	つちのえさる	三碧	不成就日	廿	大安	たいら	奎	ちいみ	4.29	18.48	8.02	8.02
27日	金	つちのと	四緑	小田原道了尊大祭	廿一	赤口	さだん	婁	十し	4.29	18.48	8.83	9.01
28日	土	かのをいぬ	五黄	横浜善光寺身代り不動明王祭、 福岡宮崎宮さつき大祭	廿二	先勝	とる	胃	百事よし	4.28	18.49	9.59	9.59
29日	日	かのと	六白	下弦二時一二分、三隣亡	廿三	友引	やぶる	昂	大みやう	4.28	18.50	10.41	10.41
30日	月	みづのえね	七赤	八せん始め	廿四	先負	あやぶ	畢	天おん	4.27	18.50	11.31	11.31
31日	火	みづのとうし	八白	世界禁煙デー	廿五	佛滅	なる	觜	天おん	4.27	18.51	12.05	12.05

朔二朔月のことで、新月を指す

○上弦二上弦の月を指す

五月は「皋月」(さつき、つじ)が縁起の季節である。新緑の季節とも薫風の季節ともいい、快適な月といつてよい。この月のうち、からりと晴れた日を「さつき晴れ」といい、爽快の代名詞として使われている。立春から数えて八十八日目ころは茶摘みどきである。「八十八夜の別れ霜」の言葉どおり、この日から後に霜の降りることはなくなった。珍重される新茶は、この期に霜の降りなかつた新芽茶のことである。

〔冠〕五月五日の祝日は、「こどもの日」(端午の節句)である。三月三日の女子の節句といわれ、桃の節句の雛飾りに匹敵するものとして、屋外に懸けられる。ここでは武者人形や鎧兜(よろい)かおと)を飾る。供える菓子は柏餅(かしわもち)やちまきで、ともに戦国時代の携帯食糧の伝統と考えられる。

〔婿〕昔は、この時期に婚禮をするのは少なかつた。農家においてははなのこと、嫁の手は計算済みで初春に婚姻し、できれば婚約者の手もあてにした、足入れた婚などの言葉が残っていたのも農繁期の人手ほしさの風習であつたのだから。

〔祭〕五月一日は労働者のお祭りである「メーデー」の国際的なもので、わが国では大正九年に第一回集会を持ち、昭和十三年に中止、昭和二十一年に復活して今日に至っている。

第二次世界大戦終了後、それまでの帝国憲法に代わつて、昭和二十二年五月三日から施行された「日本国憲法」の実施記念の祝いである。

四日は「みどりの日」。平成十七年祝日法の改定により決定した。平成十九年より施行される。

五日は「こどもの日」。国民の祝日としては、児童福祉の日となつている。

第二日曜日「母の日」で、母への感謝の気持を表わそうという日である。